

○事業所名	みらてらすデュオ朝霞		
○保護者評価実施期間	2026年2月28日		～ 2026年3月7日
○保護者評価有効回答数	20		20
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月23日
○従業者評価有効回答数	5		5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの特性に合わせた専門的で個性の高い支援	アセスメントを踏まえて個別支援計画を作成し、運動・感覚統合・整体・視覚支援などを組み合わせながら、子どもの状態に応じた支援を行っている。	日々の支援記録や振り返りをさらに充実させ、支援のねらいや成長の変化を保護者にもより分かりやすく共有できるようにする。
2	保護者への丁寧な説明と日常的な情報共有	利用開始時の説明や個別支援計画の説明を丁寧に行い、送迎時や連絡帳等を通して日頃の様子や課題をこまめに共有している。	面談や助言の機会を継続しつつ、家族支援に関する情報提供や相談しやすい導線をさらに整え、安心して相談できる関係性を強化する。
3	安心して通所できる雰囲気と満足度の高い支援	清潔な環境づくりを徹底し、子どもが楽しく安心して通えるよう職員が共感的な関わりを意識して支援している。	活動の魅力や支援内容を継続的に発信し、事業所での取り組みや成長の様子が保護者により伝わるよう工夫を重ねる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースやクールダウン空間に余裕が少ないこと	利用児童が増えると空間に余裕が少なくなり、個別の落ち着いた場所や活動の分散が十分に取りにくい場面がある。	レイアウトや備品配置を見直し、活動の分散や簡易的な個別スペースの確保を進め、限られた空間でも過ごしやすい環境づくりを継続する。
2	地域交流や他児との交流機会がまだ限定的であること	外出や地域資源の活用は行っているが、放課後児童クラブや地域の子どもと一緒に活動する機会は十分とはいえない。	無理のない範囲で地域行事や児童館等の活用を検討し、地域とのつながりや社会経験を段階的に広げていく。
3	保護者同士の交流や家族支援の機会の周知・参加しやすさ	イベントは実施しているが、参加しづらい家庭もあり、保護者会や交流の機会が十分に伝わっていない可能性がある。	保護者会や懇談の場を計画的に設け、開催方法や案内方法を工夫して、参加しやすい家族支援の機会を増やしていく。